

41 〇午前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成18年3月5日 9時20分～12時10分)

注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間50分である。

2. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には1から5までの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例1)では一つ、(例2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 県庁所在地は
どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例2) 102 県庁所在地はどれか。
2つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の

101 (1) (2) (3) (4) (5) のうち (3) をマークして

101 (1) (2) (●) (4) (5) とすればよい。

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の

102 (1) (2) (3) (4) (5) のうち (1) と (3) をマークして

102 (●) (2) (●) (4) (5) とすればよい。

(2) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例……● (濃くマークすること。)

悪い解答の例……○ (解答したことにならない。)

(3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。

鉛筆の色が残ったり「~~●~~」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

(4) ア. (例1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。

イ. (例2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。

(5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間50分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から5までの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例1)では一つ、(例2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 県庁所在地は
どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例2) 102 県庁所在地はどれか。
2つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の

問題番号	答
101	

の「答」の欄に

問題番号	答
101	3

と記入すればよい。

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の

問題番号	答
102	

の「答」の欄に

問題番号	答
102	1 3

と記入すればよい。

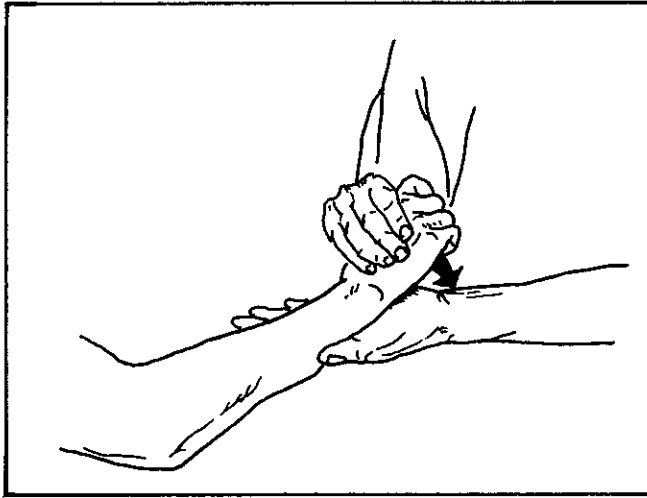
答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことにならないので注意すること。

- (2) ア. (例1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。
イ. (例2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

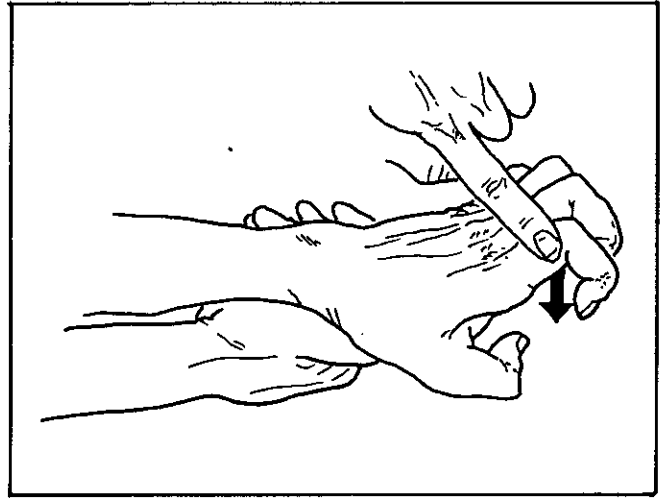
◎指示があるまで開かないこと。

問題 1 ダニエルスらの徒手筋力テスト(筋力5及び4)における検査者の手の位置で誤っているのはどれか。

ただし、図の矢印は検査者が加える力の方向を示す。



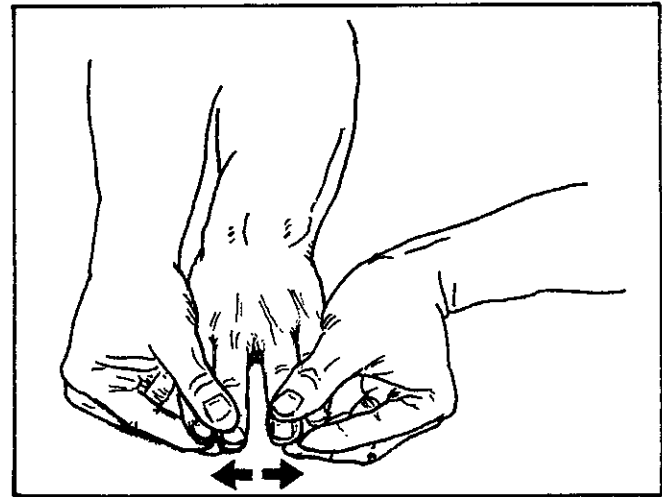
1. 手関節伸展



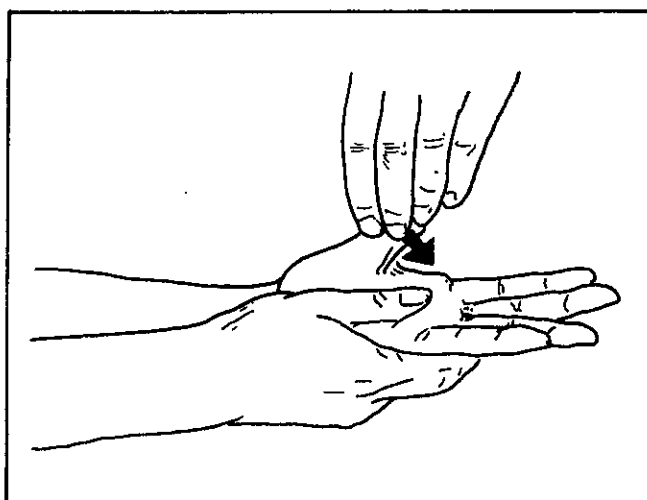
2. 中手指節間関節伸展



3. 指外転



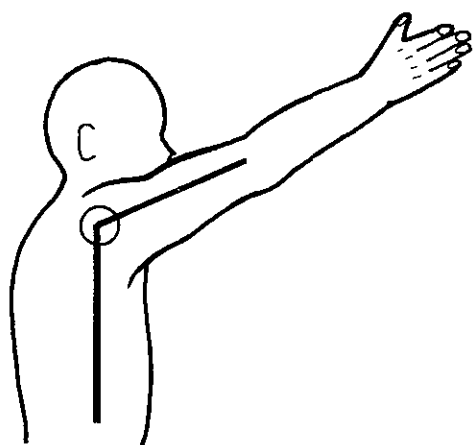
4. 指内転



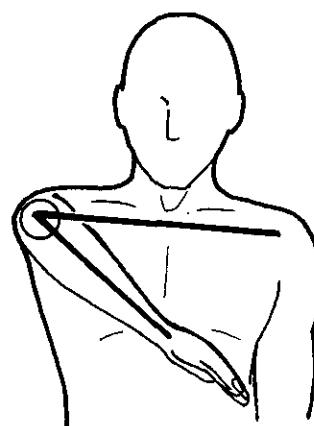
5. 母指外転

問題 2 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)

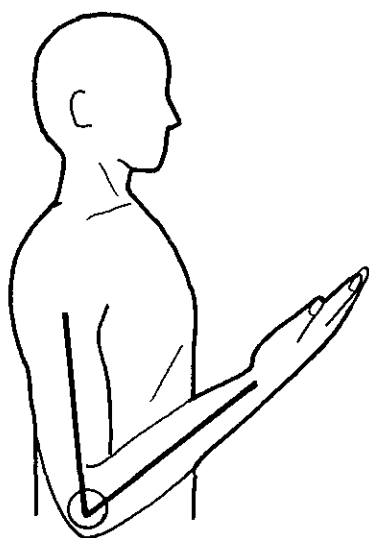
で正しいのはどれか。2つ選べ。



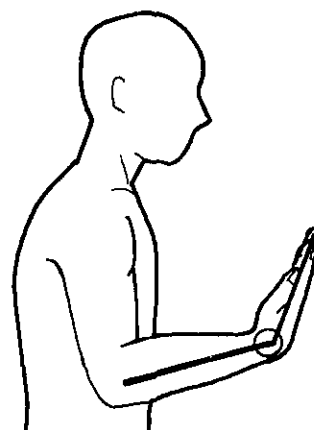
1. 肩関節屈曲



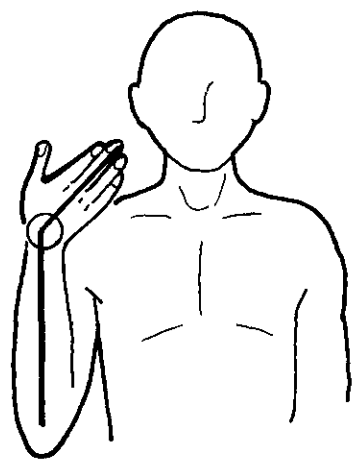
2. 肩関節内旋



3. 肘関節屈曲



4. 手関節屈曲

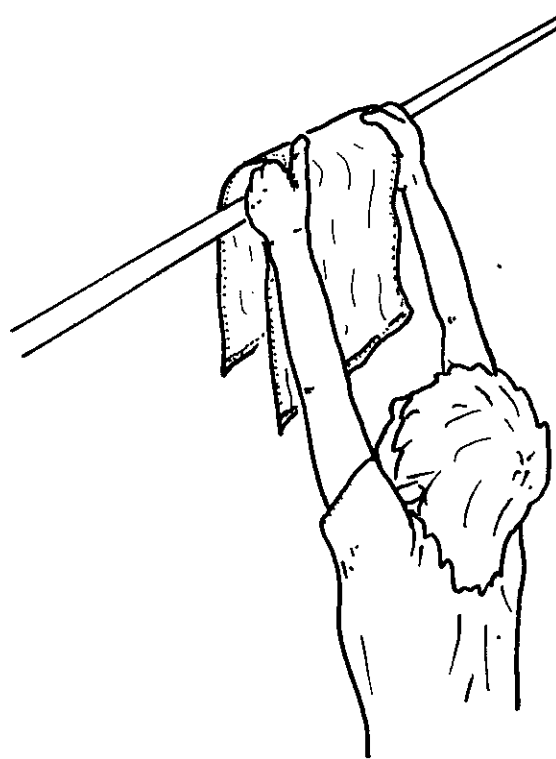


5. 手関節尺屈

問題 3 洗濯物を物干しに干すために、図のように上肢を完全挙上した。

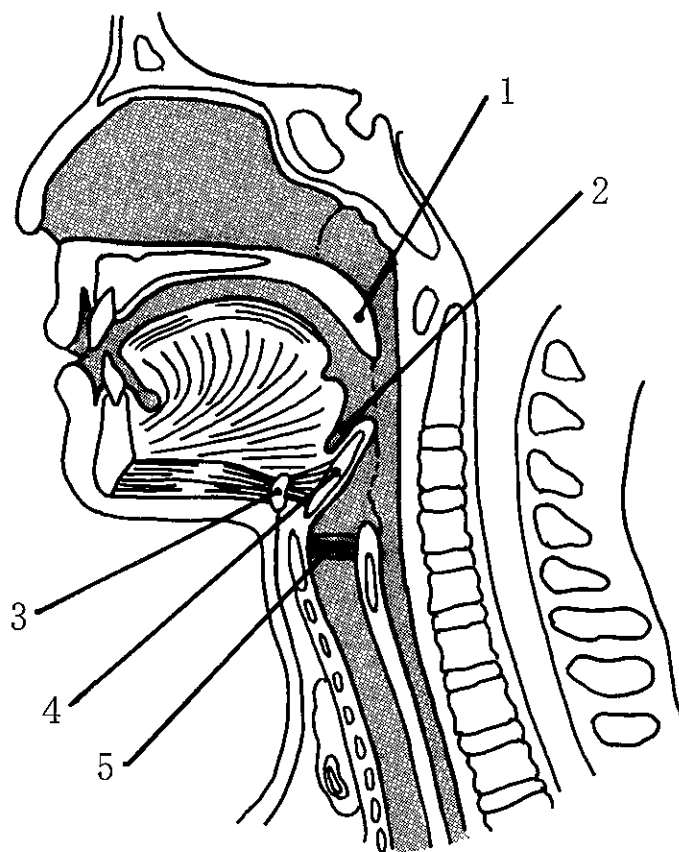
このとき、肩甲骨が上方回旋する角度で正しいのはどれか。

1. 30°
2. 40°
3. 45°
4. 60°
5. 90°



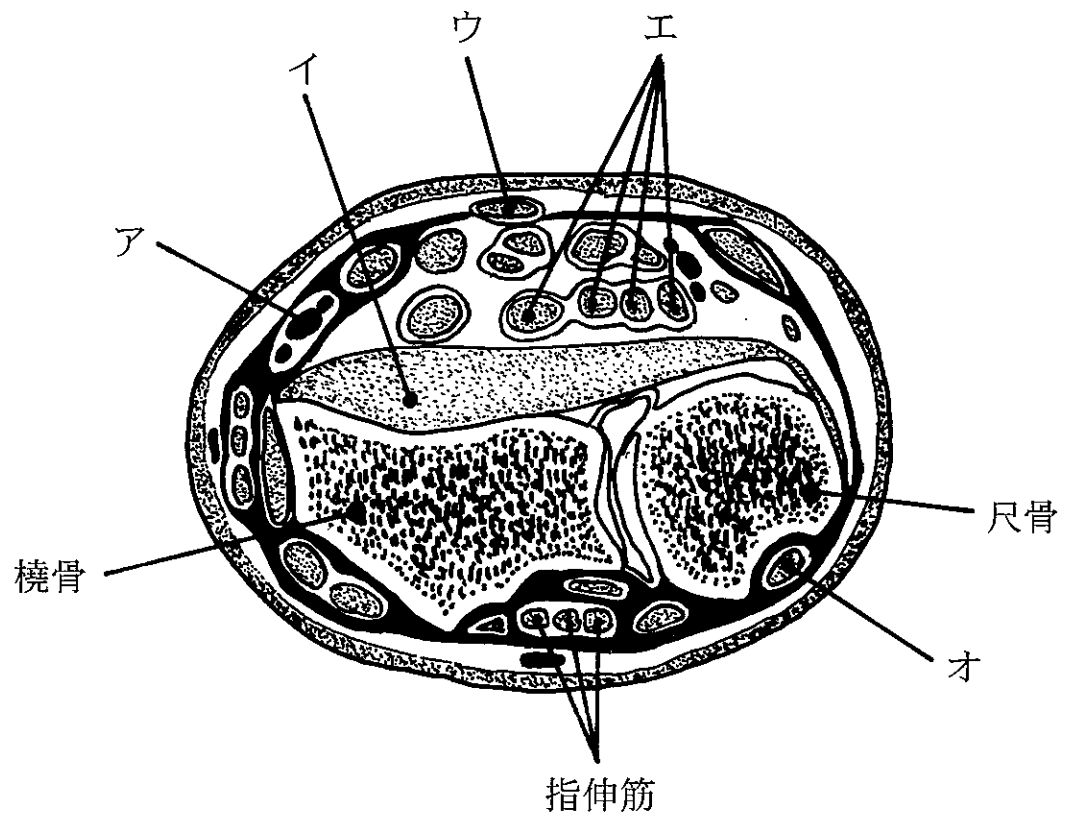
問題 4 摂食・嚥下機能にかかわる構造で誤っているのはどれか。

1. 軟口蓋
2. 梨状窩
3. 舌骨
4. 喉頭蓋
5. 声門



問題 5 前腕遠位の切断面で誤っているのはどれか。

- ア. 橈骨動脈
- イ. 屈筋支帯
- ウ. 正中神経
- エ. 深指屈筋
- オ. 尺側手根伸筋



- 1. ア、イ
- 2. ア、オ
- 3. イ、ウ
- 4. ウ、エ
- 5. エ、オ

問題 6 脳出血時の頭部 CT(別冊No. 1)を別に示す。

誤っているのはどれか。

- 1. くも膜下出血
- 2. 尾状核出血
- 3. 小脳出血
- 4. 脳幹出血
- 5. 被殻出血

別 冊
No. 1 写 真

次の文により問題7・8に答えよ。

55歳の女性。右利き。脳梗塞による左片麻痺。発症15日目のブルンストローム法ステージは上肢Ⅲ・手指Ⅲ・下肢Ⅲ、左足にクローヌスと内反尖足を認める。感覚障害や高次脳機能障害はない。

問題7 早期に移動能力を獲得するために適切な装具はどれか。

1. 靴型装具
2. 短下肢装具
3. 硬性膝装具
4. 長下肢装具
5. 骨盤帯付長下肢装具

問題8 作業療法開始2週後、左片麻痺はブルンストローム法ステージ上肢Ⅳ・手指Ⅳ・下肢Ⅳに改善し、装具を用いて屋内歩行が自立した。

麻痺側上肢の使用を促すための作業療法で適切でないのはどれか。

1. 左手でテーブルの雑巾がけをする。
2. 左手で持った針に右手で糸を通す。
3. 左手で持ったゆで卵の殻を右手でむく。
4. 両手で電気掃除機を操作する。
5. 両手で頭上の高さに洗濯物を干す。

問題 9 53歳の男性。脳出血による右片麻痺。ブルンストローム法ステージは上肢Ⅳ・手指Ⅲでやや痙縮が強い。麻痺側でコップの水を飲んでもらったところ図1のような反応がみられた。

このような反応を軽減するための訓練として図2のような動作を行う際に注意すべき点で適切でないのはどれか。

図1

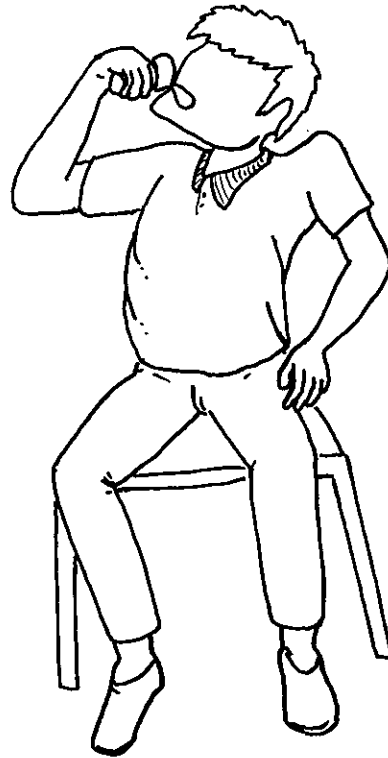
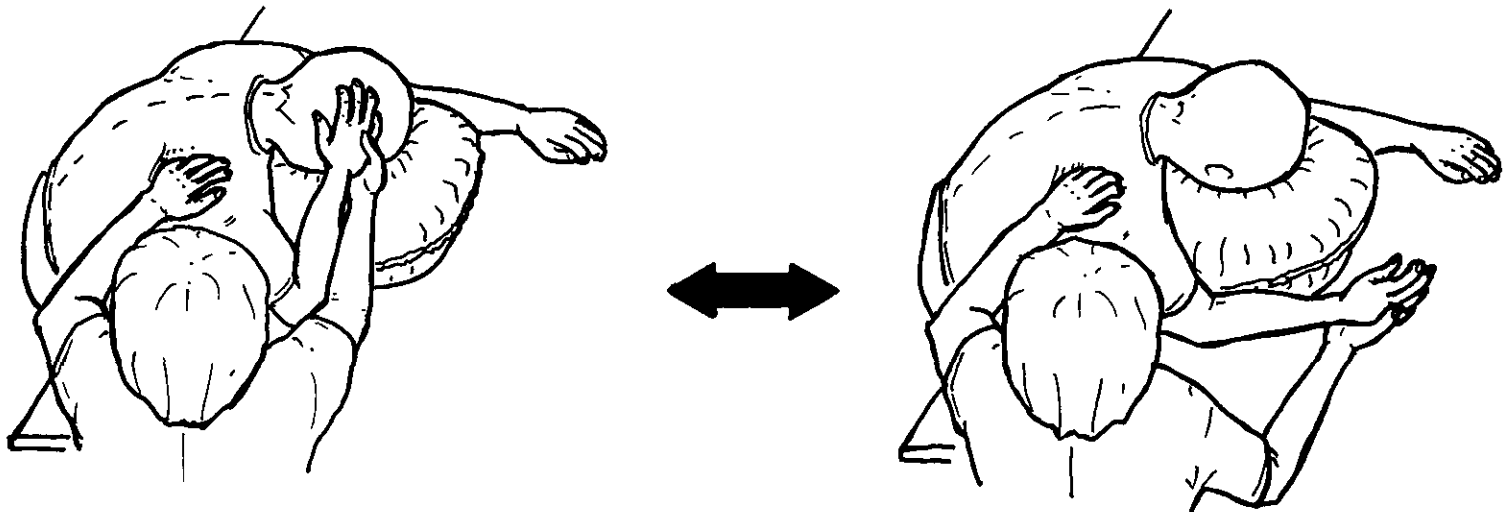


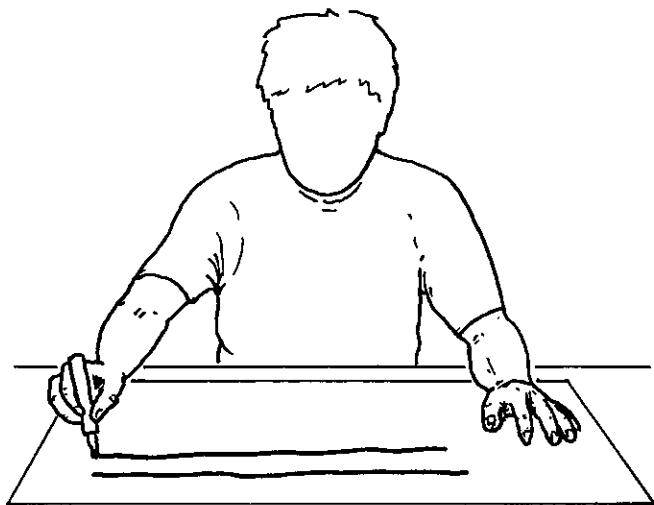
図2



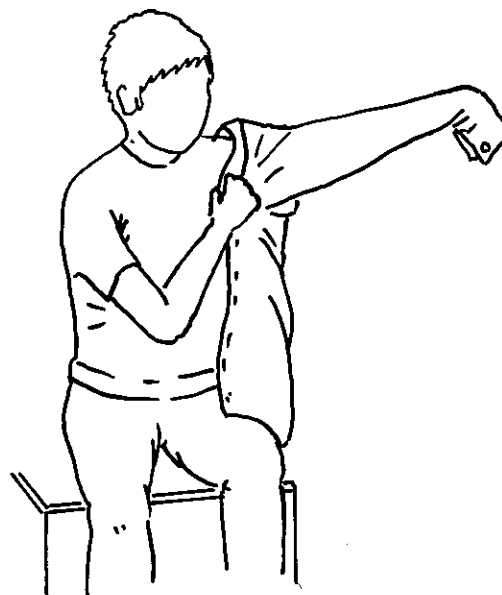
1. 麻痺側上肢の運動に抵抗をかける。
2. 麻痺側肩関節は外旋位に保持する。
3. 非麻痺側上肢をリラックスさせる。
4. 麻痺側肩甲帯の前方突出を保持する。
5. 頸部と体幹は軽度屈曲を保持する。

問題10 左片麻痺のブルンストローム法ステージと作業療法との組合せで適切でないのはどれか。

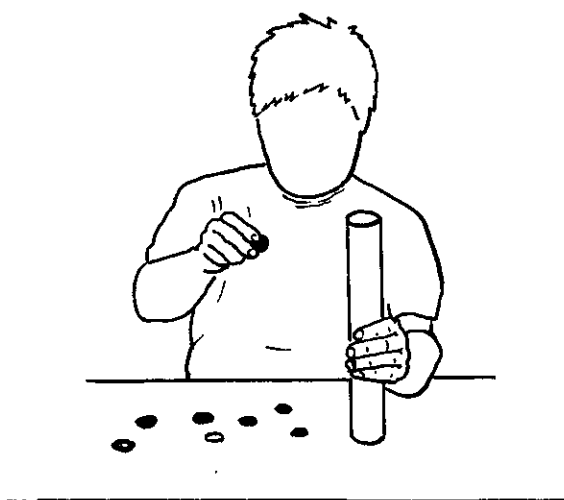
ただし、ステージは上肢・手指の順とする。



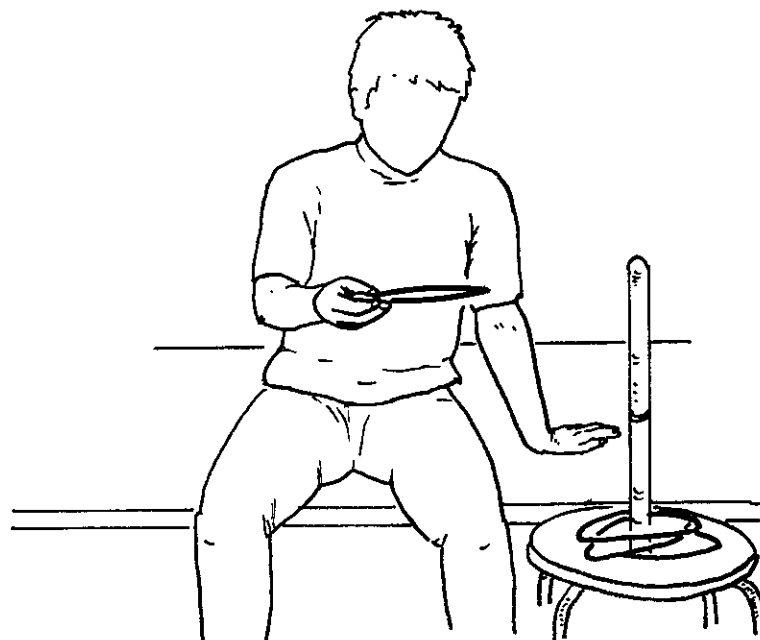
1. II・II



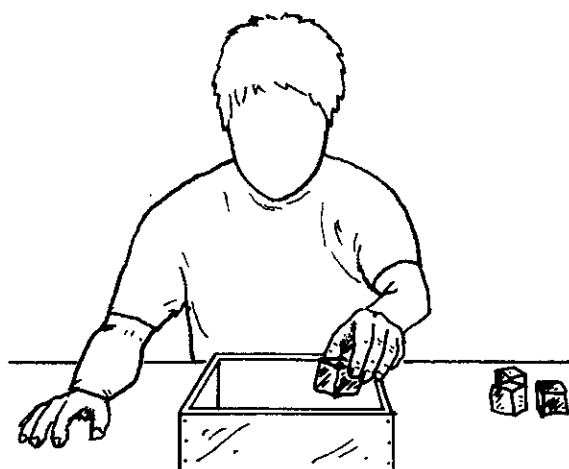
2. III・II



3. III・V



4. IV・III



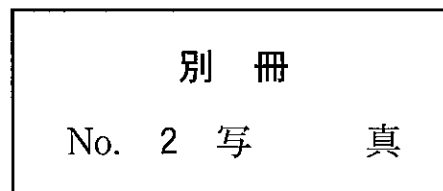
5. IV・V

問題11 左片麻痺患者の車椅子座位の写真(別冊No. 2)を別に示す。

ポジショニング指導で誤っているのはどれか。

- ア. 肘台のクッションの上に左前腕を載せる。
- イ. 車椅子にカットアウト・テーブルを設置する。
- ウ. 両大腿部の下に折りたたんだタオルを敷く。
- エ. 右股関節をスカートガードに近づける。
- オ. 足台の高さを通常より低くする。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ



問題12 25歳の男性。事務職。外傷性脳損傷後5か月経過。明らかな麻痺はなく、いつも落ち着きなく動き回る。些細なことですぐに怒り出し、軽度の記銘力障害がある。

作業療法の指導で正しいのはどれか。

- ア. メモを利用する。
- イ. 怒ったときは本人に詳しく理由を聞く。
- ウ. 慣れたことより目新しい課題を設定する。
- エ. 定期的に受傷前の職場に通う。
- オ. 作業工程を短く区切って指示する。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題13 体幹の筋緊張が低い脳性麻痺の乳児を抱きかかえる方法で適切でないのはどれか。



1.



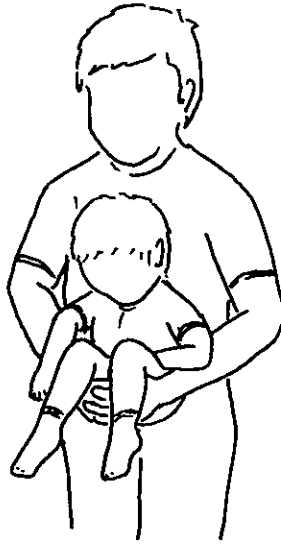
2.



3.



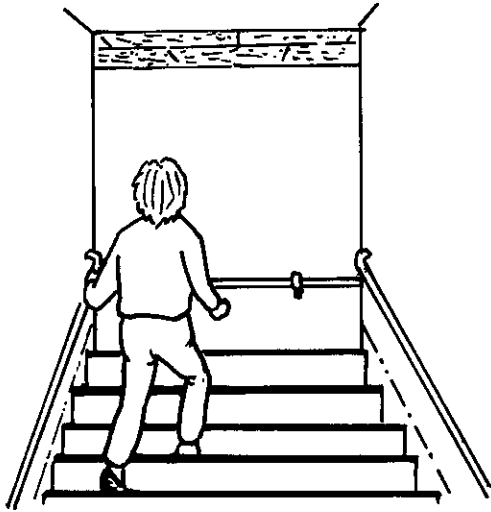
4.



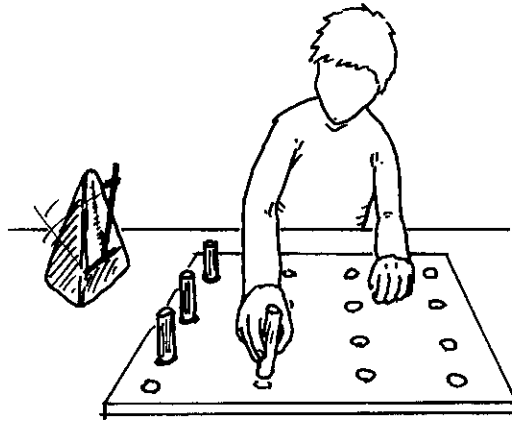
5.

問題14 53歳の女性。パーキンソン病。ヤールの重症度分類ステージⅢ。薬物コントロールができ次第退院の予定である。

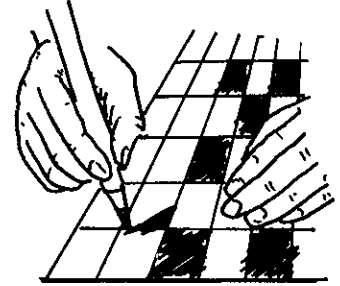
作業療法で適切でないのはどれか。



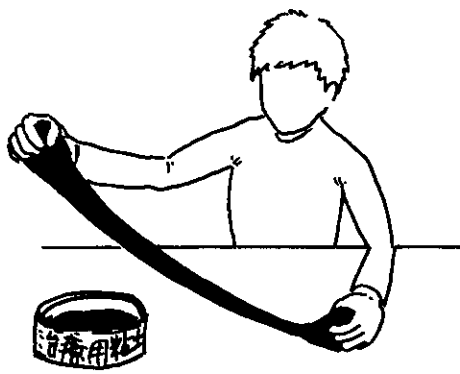
1.



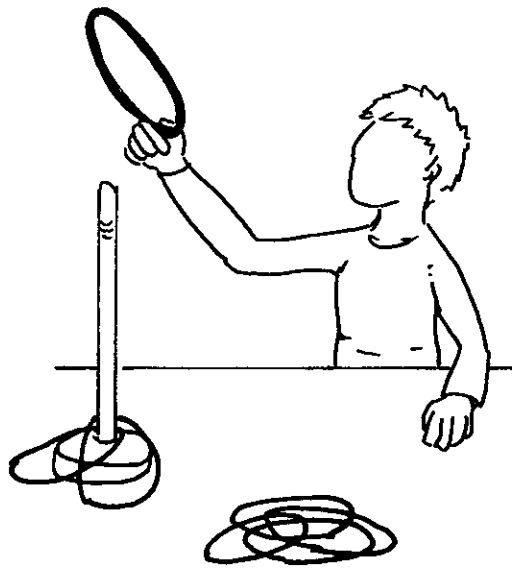
2.



3.

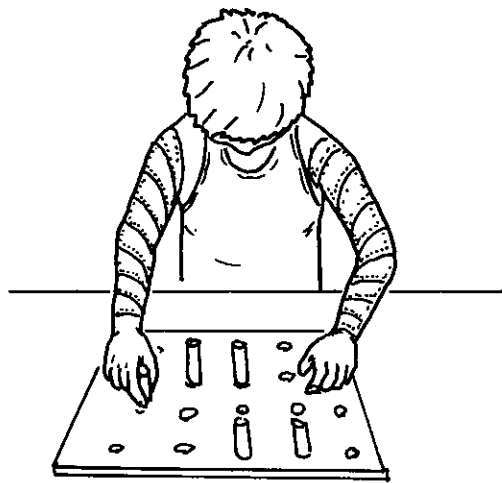


4.

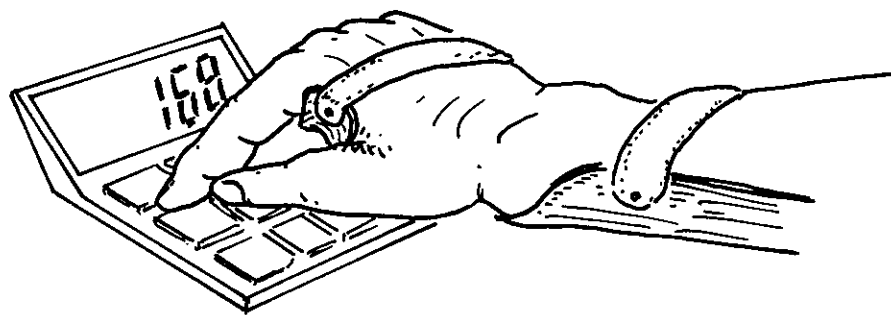


5.

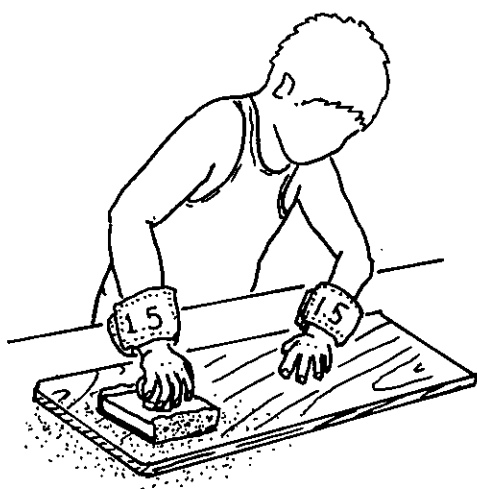
問題15 小脳性運動失調症患者への作業療法で適切でないのはどれか。



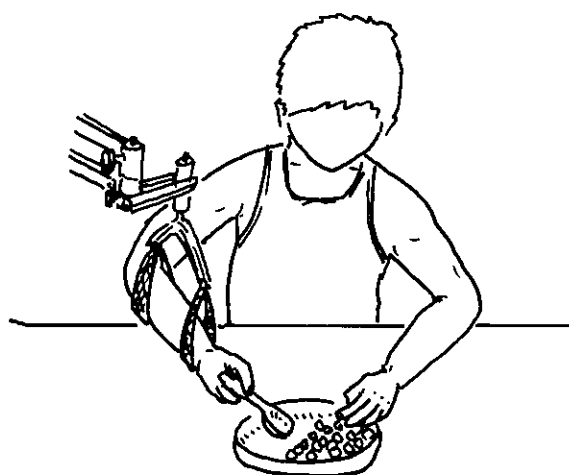
1. 緊縛帯



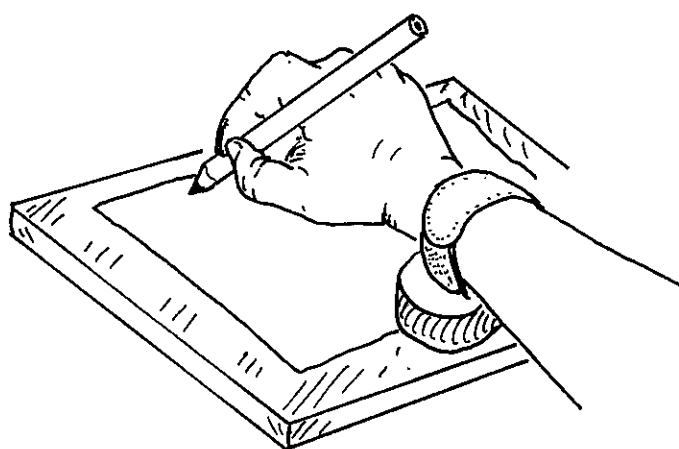
2. コックアップ・スプリント



3. 重 錘



4. スプリングバランサー

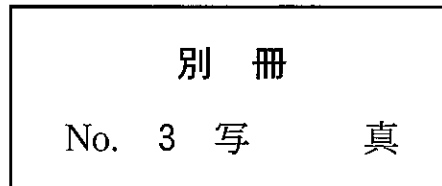


5. 磁石付リストバンド

問題16 頸髄損傷患者に紙を押さえるよう指示したところの写真(別冊No. 3)を別に示す。

この代償動作の原因となった麻痺筋はどれか。

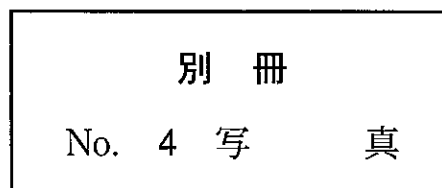
1. 三角筋前部
2. 広背筋
3. 大胸筋
4. 上腕三頭筋
5. 橈側手根伸筋



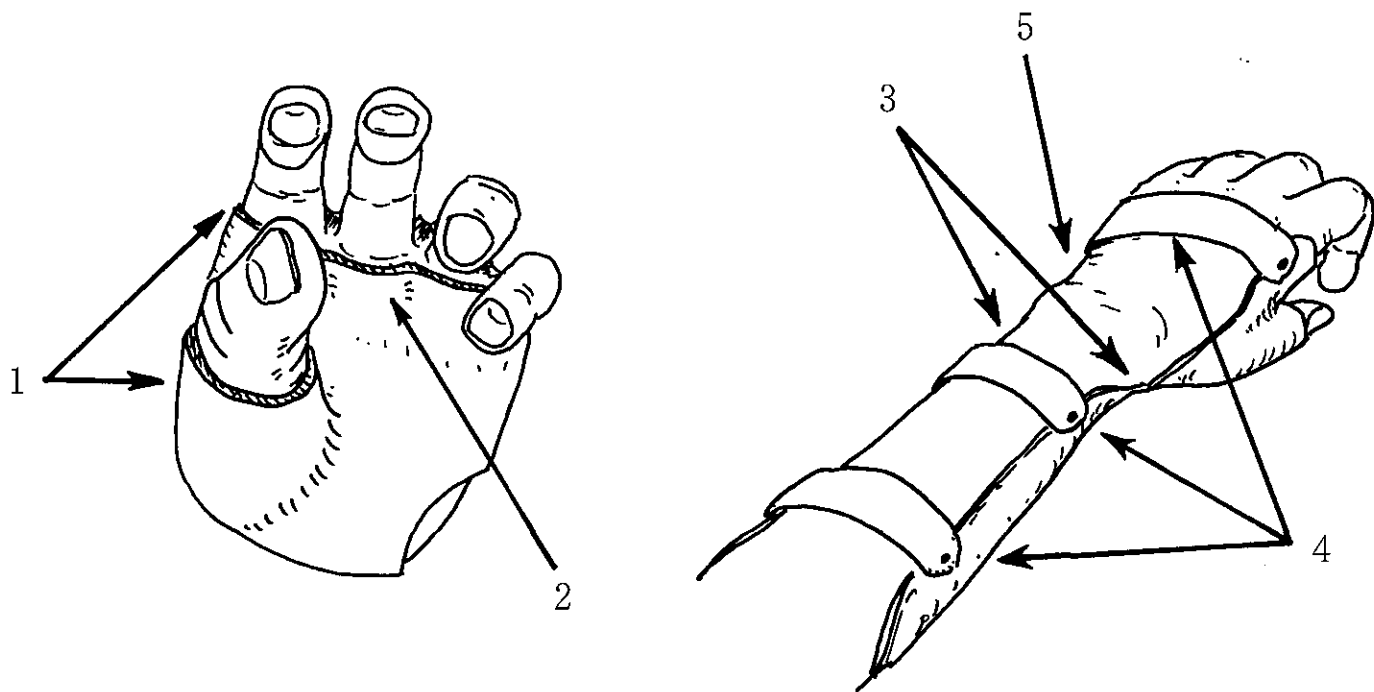
問題17 58歳の男性。第10胸椎脱臼骨折による対麻痺。1日4回の自己導尿で管理していた。受傷2年後に施行された膀胱造影の写真(別冊No. 4)を別に示す。

検査結果に基づく指導で適切でないのはどれか。

- ア. 起き上がりは側臥位から行わせる。
 - イ. 飲水量を1日500ml以下に制限する。
 - ウ. 用手排尿によって残尿を減らす。
 - エ. 自己導尿の回数を増やす。
 - オ. 夜間のカテーテル留置を検討する。
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ



問題18 橈骨神経麻痺による下垂手に対してコックアップ・スプリントを作製する際に注意すべき点で正しいのはどれか。2つ選べ。

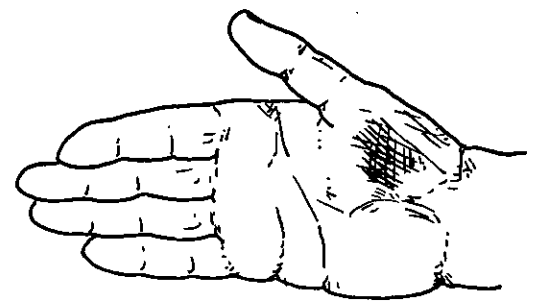


1. 母指と示指を対立位で固定する。
2. 遠位端はⅡ～Ⅴ指 MP 関節よりも長くする。
3. 橈骨・尺骨の茎状突起の除圧を図る。
4. ベルクロによる固定は、遠位端、近位端および手関節付近の3か所で行う。
5. 手関節を中間位(背屈0°)で保持する。

問題19 30歳の女性。コンピュータのプログラマーで仕事中はキーボードを操作している。右手にしびれがあり、Phalen 徴候陽性。図のような萎縮が認められる。

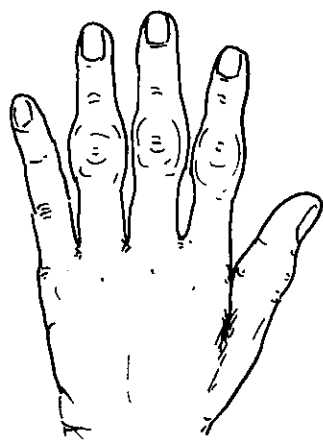
この患者に対する指導で適切なのはどれか。

- ア. キーボード操作時は手首をリストパッドの上に載せて支える。
- イ. コックアップ・スプリントで安静を保つ。
- ウ. キーボードの位置を手首より高くする。
- エ. 患部を冷やしてしびれを緩和する。
- オ. 夜間は上肢を下垂し負担を減らす。



1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

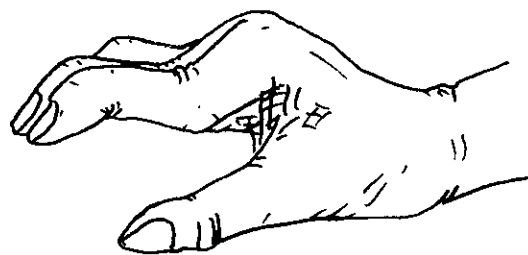
問題20 関節リウマチの手指変形でみられないのはどれか。



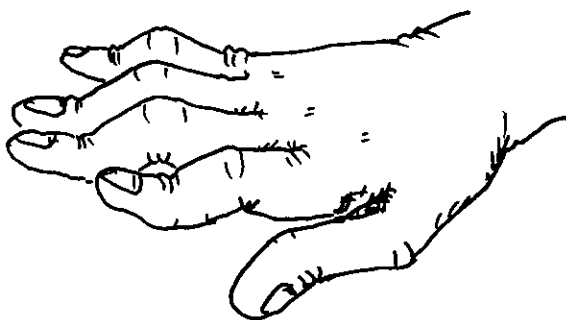
1



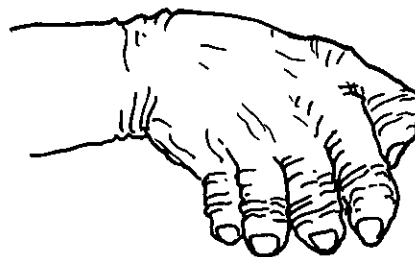
2



3

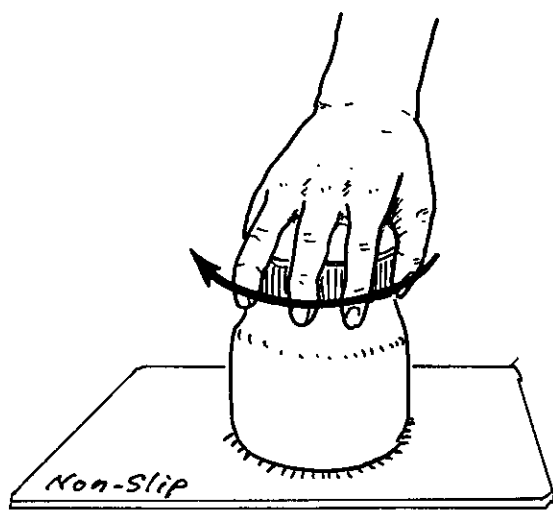


4



5

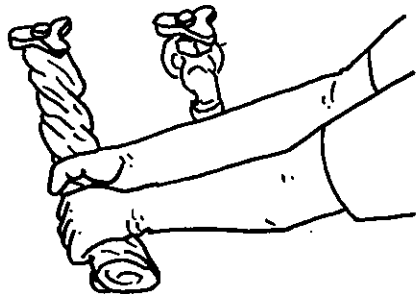
問題21 関節リウマチの関節保護で適切でないのはどれか。



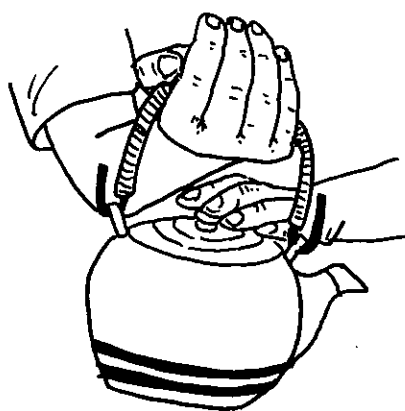
1



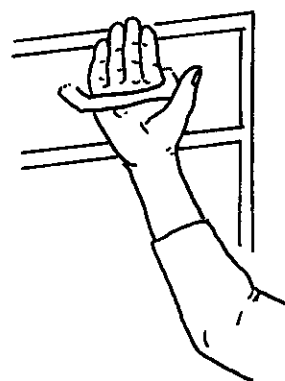
2



3



4

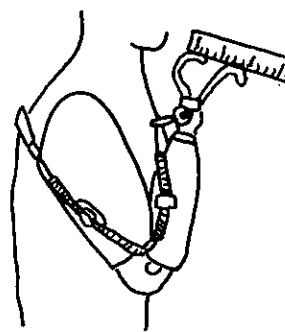


5

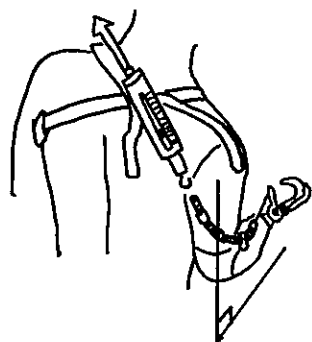
問題22 上腕義手の適合検査で誤っているのはどれか。



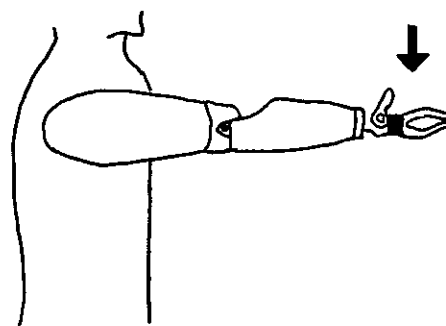
1. 下垂力に対する安定性



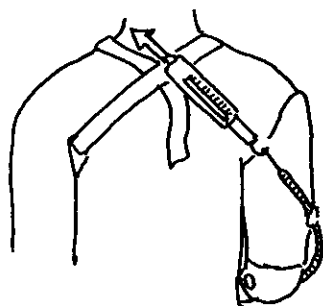
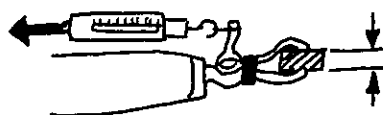
2. 口元の位置でのフックの拡大



3. 肘の屈曲に要する力



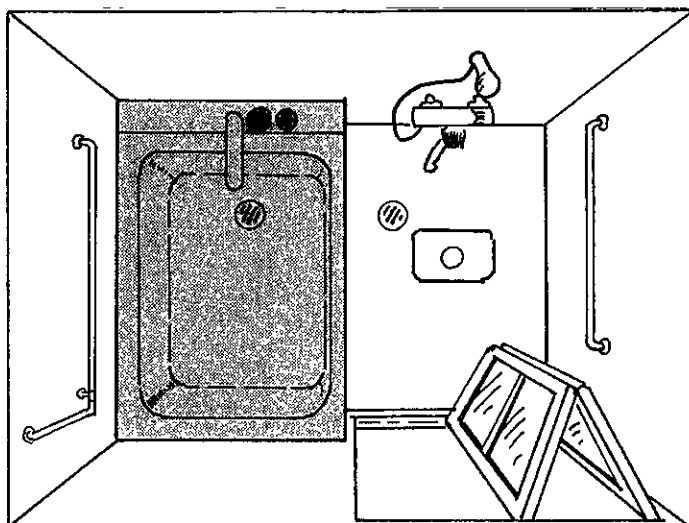
4. ソケットの適合チェック



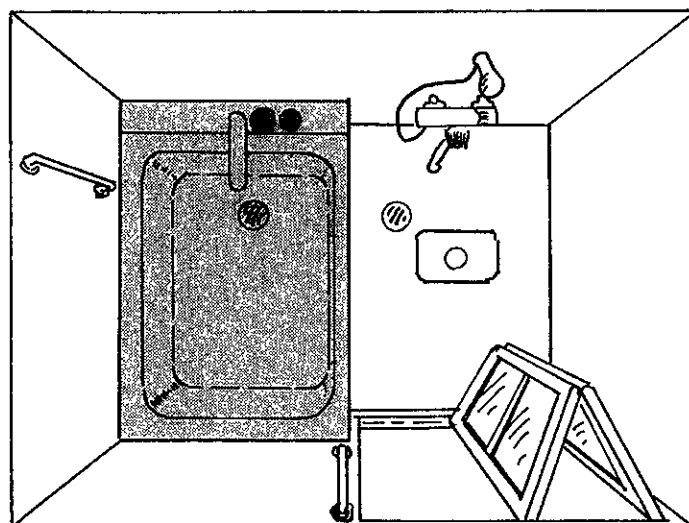
5. コントロールケーブルシステムの効率

問題23 1年前に右大腿骨頸部骨折の既往のある患者から「最近、立ち上がりにくくなった」と自宅浴室の手すり設置の相談を受けた。

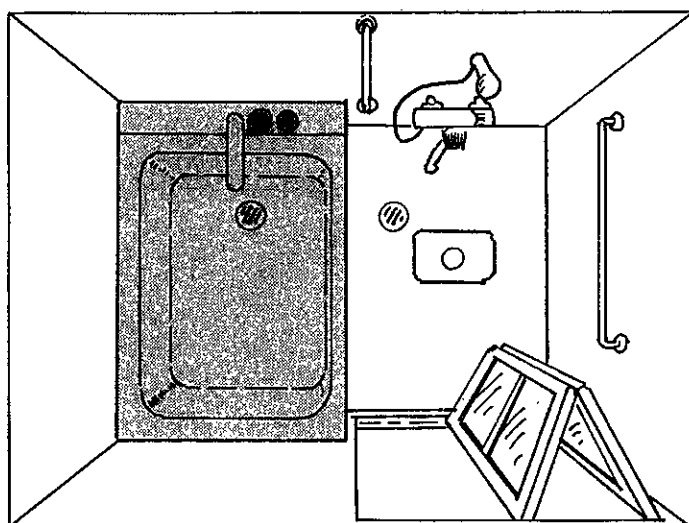
設置する手すりの組合せで適切なのはどれか。



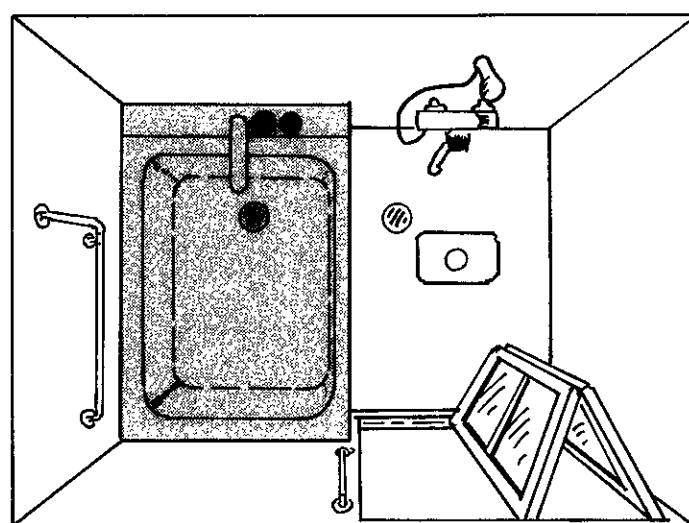
1



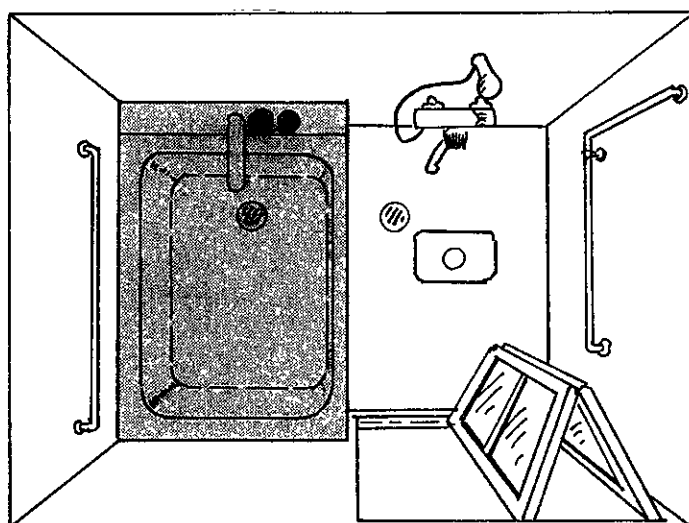
2



3

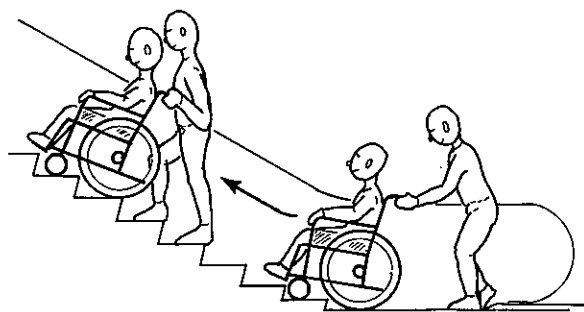


4

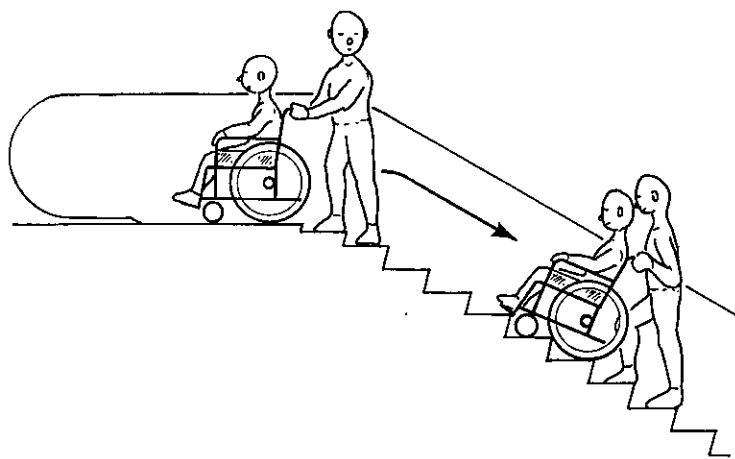


5

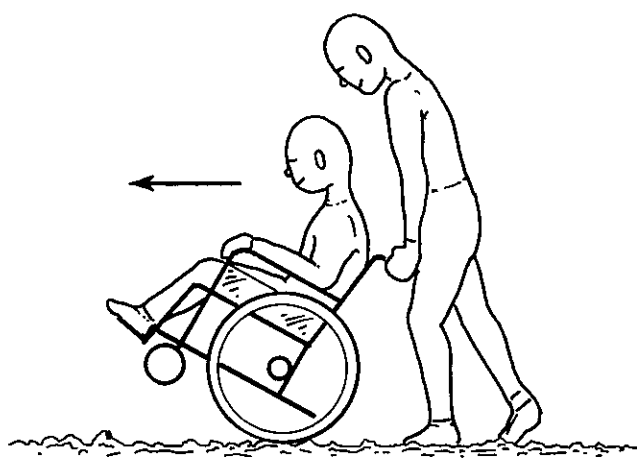
問題24 車椅子介助で適切でないのはどれか。



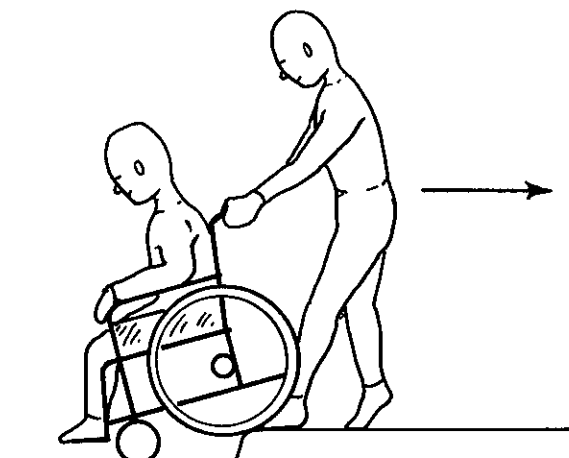
1



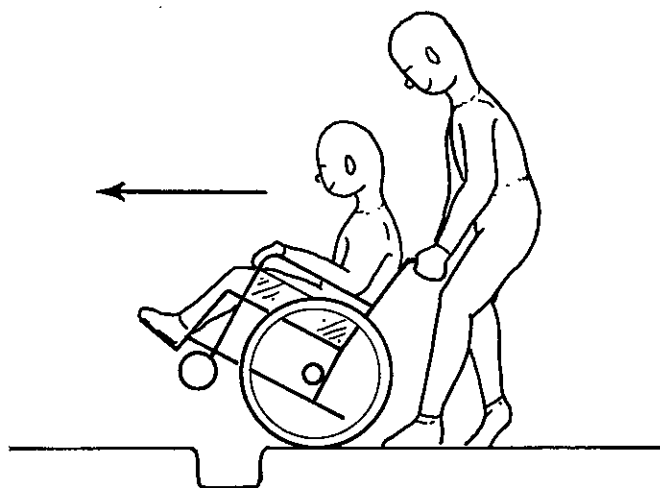
2



3



4



5

問題25 心電図と病態との組合せ(別冊No. 5)を別に示す。

誤っているのはどれか。

1. 洞性徐脈
2. 上室性期外収縮
3. 心室性期外収縮
4. I度房室ブロック
5. 心室細動

別 冊
No. 5 ☒

次の文により問題 26・27 に答えよ。

45 歳の男性。髄膜脳炎。手足の麻痺はなく、1 年後には身の回りの動作が自立した。新しいことが覚えられない記銘力障害が残った。病前の職業は会社員(営業)。

問題26 MMSE (Mini-Mental State Examination) で低得点が予想される項目はどれか。

1. 物品名 3 個の再生
2. 物品の名称呼称
3. 文章命令による動作
4. 文章作成
5. 図形の模写

問題27 この患者の作業療法で適切なのはどれか。

- ア. 計算ドリルの練習
 - イ. メモの利用
 - ウ. 一日のスケジュール表作成
 - エ. 新聞の音読
 - オ. 電話対応の練習
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

次の文により問題 28・29 に答えよ。

65歳の女性。アルツハイマー型痴呆(認知症)。2年前から物忘れがひどくなった。散歩に行っても自宅に帰れなくなってから、抑うつ的となり自宅から出たがらなくなった。日中の臥床傾向が強く、夜中に徘徊するようになったため入院となった。

問題28 この患者の作業療法の目的で適切でないのはどれか。

- ア. 生活リズムの改善
- イ. 身辺処理能力の改善
- ウ. 対人関係能力の改善
- エ. 作業遂行能力の改善
- オ. 安心感の提供

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題29 昼夜逆転はなくなり介助で食事がとれるようになり、退院することになった。

退院後の支援で適切でないのはどれか。

- 1. 通所介護(デイサービス)の利用
- 2. 訪問看護の利用
- 3. 介護老人保健施設への入所
- 4. 訪問介護(ホームヘルプサービス)の利用
- 5. 福祉ホームへの入所

次の文により問題 30・31 に答えよ。

16 歳の女子。統合失調症。高校入学後、人の目を気にするようになり、被害的な言動が出現するようになった。文化祭時に興奮状態となり入院となった。入院 10 日後、症状は徐々に落ち着いてきたが敏感さが残る。この時点で作業療法が処方された。

問題30 作業療法導入時の対応で適切でないのはどれか。

1. 短時間から開始する。
2. 個別で対応する。
3. 単純な作業から導入する。
4. 学校での様子を聴取する。
5. 疲労感を確認する。

問題31 この患者が作業療法を開始して 2 週後「作業療法は受けたくない」と言った。

この時点の対応で適切でないのはどれか。

1. しばらく作業療法を休ませて様子を見る。
2. 受けたくない理由を聞く。
3. 2 週間の作業療法の感想を聞く。
4. 他の作業療法士が担当する。
5. 病棟での生活の様子を観察する。

次の文により問題 32・33 に答えよ。

40歳の男性。4月に職場の配属先が変わり新しい仕事に慣れない日が続いていた。会社に行くと手に冷や汗が出て、胸がドキドキするようになった。1か月前から不眠、意欲の低下が出現した。会社に行く気力がなくなり、朝からふさぎこむようになったため、妻と一緒に精神科を受診し、入院となった。

問題32 この症例に出現しない症状はどれか。2つ選べ。

1. 精神運動抑制
2. 観念奔逸
3. 連合弛緩
4. 罪業妄想
5. 希死念慮

問題33 この患者の入院初期の治療として適切でないのはどれか。

1. 対人技能訓練を行う。
2. 隠れた身体疾患を検索する。
3. 睡眠薬を処方する。
4. 抗うつ薬を処方する。
5. 十分な休息を与える。

次の文により問題 34・35 に答えよ。

28 歳の女性。精神科クリニックで境界型人格障害と診断され精神療法と薬物療法を受けていた。母親と口論になり睡眠薬を大量に摂取して自殺を図った。意識回復後、希死念慮を認めるために精神科に入院となった。

問題34 入院中に出現する可能性の高い症状はどれか。

1. 夜間せん妄
2. 幻覚
3. 行動化
4. もの盗られ妄想
5. 強迫観念

問題35 この患者の作業療法で適切でないのはどれか。2つ選べ。

1. パラレルな場での個人作業療法を行う。
2. 参加する時間帯を自由にする。
3. 刃物やはさみの使用を禁止する。
4. 家族関係について聞く。
5. 自信が持てる作業を行わせる。

次の文により問題 36・37 に答えよ。

13歳の女子。中学に入学してから頭痛などを理由に欠席が多くなり、2学期からは不登校となった。自宅で母親への暴力がみられるようになったため、精神科を受診し外来作業療法に通うこととなった。

問題36 この患者への対応で適切でないのはどれか。

1. 作業療法場面の見学をさせ作業療法の利用法を一緒に考える。
2. 家族や教師との連絡が必要な場合は事前に本人の了解を得る。
3. 嫌なことは無理に話したり行ったりしなくてよいことを保障する。
4. 作業療法に毎日通えるようになることを目指す。
5. 本人の希望や要求を可能な範囲で取り入れる。

問題37 作業療法プログラムの留意点で適切でないのはどれか。

1. 同年代の患者との交流を楽しめる機会を提供する。
2. 電子メールなどのコミュニケーション機器の利用法を指導する。
3. 授業の遅れを取り戻すために学習の時間を取り入れる。
4. 1週間の過ごし方を工夫し基本的な生活リズムを整える。
5. 身体運動や創作活動を利用し自己表現の機会を提供する。

次の文により問題 38・39 に答えよ。

19歳の男性。てんかん。IQ 70。養護学校卒業後にクリーニング店に就職した。仕事のみ込みが悪いと店主に注意されたことがきっかけで仕事に行けなくなり、家に引きこもりがちとなった。時々家族に暴力を振るうようになり、家族が主治医に相談した結果、外来作業療法が処方された。本人、家族とも「仕事できれば」と希望を語っている。

問題38 この患者の作業療法で適切なのはどれか。

- ア. 作業内容は患者に選択させる。
- イ. 運動能力を高める作業を行う。
- ウ. 自己表現の練習を行う。
- エ. 対人技能の訓練を行う。
- オ. 集中力を高める作業を行う。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題39 この患者の就労支援で適切でないのはどれか。

- ア. 障害者職業センターで評価を受ける。
- イ. 援護寮を見学する。
- ウ. 作業療法士が就職先を紹介する。
- エ. 通院患者リハビリテーション事業を紹介する。
- オ. ハローワークの障害者窓口で相談する。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題40 36歳の女性。アルコール依存症。専業主婦。以前から台所で飲酒をしていた。昼夜に関係なく隠れ飲みするようになり、半年後に入院となった。入院後、薬物療法と作業療法で症状は安定した。主治医から退院を勧められた後、作業療法場面で泣き出すなど情緒不安定になった。

この患者への対応で適切でないのはどれか。

1. 支持的な態度で患者の訴えを聞いた。
2. 訴えを聞くうちに落ち着いてきたので作業を続けた。
3. 情緒不安定になったことを作業終了後に主治医へ報告した。
4. 作業療法終了後も行動観察をした。
5. 作業療法の実施回数を増やした。

問題41 ダニエルスらの徒手筋力テストを座位で行うのはどれか。

ア. 肩関節水平外転(三角筋後部)の段階2 (Poor)

イ. 肩関節水平内転(大胸筋)の段階3 (Fair)

ウ. 肘関節屈曲(上腕二頭筋)の段階1 (Trace)

エ. 肘関節伸展(上腕三頭筋)の段階5 (Normal)

オ. 膝関節伸展(大腿四頭筋)の段階4 (Good)

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題42 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)

の運動方向と移動軸との関係で誤っているのはどれか。

1. 頸部の屈曲——外耳孔と頭頂を結ぶ線
2. 頸部の回旋——鼻梁と後頭結節を結ぶ線
3. 胸腰部の前屈——第1胸椎棘突起と第5腰椎棘突起を結ぶ線
4. 胸腰部の回旋——両側の肩峰を結ぶ線
5. 胸腰部の側屈——第1胸椎棘突起と尾骨を結ぶ線

問題43 作業の難易度の段階づけで適切でないのはどれか。

1. 編物——編み方の種類
2. 木工——作品の形
3. 籐細工——籐の色
4. 絵画——作品の大きさ
5. キーボード演奏——曲の種類

問題44 作業活動の一般的特徴で適切な組合せはどれか。

1. マクラメ——押し動作
2. 革細工のスタンピング——片手動作
3. 陶芸の菊ねり——つまみ動作
4. モザイク用のタイル割り——握り動作
5. プラモデルの組立て——繰り返し動作

問題45 適切でない組合せはどれか。

1. Barthel index————日常生活活動
2. Fugl-Meyer scale————意識障害
3. BIT (Behavioral Inattention Test)————半側空間無視
4. STEF————上肢機能
5. WAIS-R————知能

問題46 右片麻痺患者のFIMで誤っているのはどれか。

- ア. ベッド移乗6点————手すりを用いて自立している。
- イ. 整容5点————くしや歯ブラシを持ってきてもらえば自立している。
- ウ. 清拭4点————左上肢、背中および殿部以外は自立している。
- エ. 歩行4点————介助者に支えられて20mを4点杖で歩く。
- オ. トイレ動作3点————ズボンの上げ下げは全介助だが拭くことはできる。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題47 右大脳半球の広範な脳梗塞の患者にみられるのはどれか。

- ア. 頭部が左方向を向いている。
- イ. 視線が左方向に向いている。
- ウ. 皿の食物を左側だけ食べる。
- エ. 車椅子を左側の壁にぶつけやすい。
- オ. 座位時左側に倒れやすい。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題48 重度の左半側空間無視が認められる患者に合併しにくいのはどれか。

1. 注意障害
2. 病態失認
3. 着衣失行
4. 構成障害
5. 観念失行

問題49 脳卒中患者の摂食・嚥下障害で誤っているのはどれか。

1. 仮性球麻痺や球麻痺に伴いやすい。
2. 急性期には高頻度にみられる。
3. 食物は刺激の少ないぬるめの温度が基本となる。
4. 体位の違いで誤嚥の危険性が変わる。
5. 誤嚥を伴うと肺炎の危険性が高くなる。

問題50 外傷性脳損傷の ADL の予後と関連しないのはどれか。

1. 昏睡の期間
2. 除皮質肢位の有無
3. 外傷性健忘の期間
4. 共同性注視障害の有無
5. 半盲の有無

問題51 パーキンソン病患者のすくみ足の改善を目的とした訓練で正しいのはどれか。

- ア. 足底板で踵部を高くする。
- イ. 床に描いた平行線をまたぐ。
- ウ. 障害物を多くする。
- エ. 身体の向きを頻回に変える。
- オ. 弾力包帯を用いる。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題52 筋萎縮性側索硬化症患者の食事で適切でないのはどれか。

1. 汁物にはとろみをつける。
2. 煮魚の骨はあらかじめ外しておく。
3. 皿にフードガードを付けてすくいやすくする。
4. 歓談は避けて食事に集中させる。
5. 頭頸部伸展位にして嚥下しやすくする。

問題53 初発の多発性硬化症患者の作業療法で適切でないのはどれか。

- ア. 環境温度を 25℃ 以下に設定する。
- イ. 視覚障害に対して点字訓練を開始する。
- ウ. 漸増抵抗運動での筋力増強訓練を行う。
- エ. 痙縮筋の持続伸張を行う。
- オ. 抑うつに対して心理的サポートを行う。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題54 デュシェンヌ型筋ジストロフィーのステージ7 (厚生省筋萎縮症研究班機能障害度分類による)のADLで適切でないのはどれか。

- 1. 長柄のブラシで髪を整える。
- 2. アームサポートを利用して歯磨きを行う。
- 3. 食事では皿をターンテーブルに置く。
- 4. 前開きシャツの着脱訓練を行う。
- 5. トイレでは前方テーブルを用いて姿勢を保持する。

問題55 完全頸髄損傷の機能残存髄節レベルと可能な動作との組合せで適切でないのはどれか。

- ア. C4 ——— コップホルダーを使った飲水
- イ. C5 ———ズボンの着脱
- ウ. C6 ———寝返り
- エ. C6 ———長便座への移乗
- オ. C7 ———自動車への移乗

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題56 前腕遠位部での正中神経縫合術後3週の患肢への作業療法で適切でないのはどれか。

- 1. 感覚障害 ——— 手掌から開始する知覚再教育
- 2. 関節拘縮 ——— 手関節背屈位で行う手指の関節可動域訓練
- 3. 筋力低下 ——— 非麻痺筋の積極的な筋力増強訓練
- 4. 手指機能 ——— 短対立装具を用いたつまみ訓練
- 5. 循環障害 ——— 上肢挙上位保持の指導

問題57 誤っている組合せはどれか。

1. 橈骨神経麻痺———オープンハイマースプリント
2. 橈骨神経麻痺———トーマスプリント
3. 正中神経麻痺———対立スプリント
4. 正中神経麻痺———パンケーキ型装具
5. 尺骨神経麻痺———ナックルベンダー

問題58 関節リウマチの関節保護で正しいのはどれか。

1. 大きな関節への負担を避けるため小さな関節を使う。
2. ソフトネックカラーを使用する。
3. 寝る時は高めの枕を使用する。
4. 両側への負担を軽減するためできるだけ片手を使用する。
5. 膝下に枕を入れ膝の痛みを和らげる。

問題59 関節リウマチ患者に対する手指巧緻性維持を目的とした作業で適切でないのはどれか。

1. はり絵
2. 編物
3. 刺しゅう
4. マクラメ
5. 金工細工

問題60 腱板不全断裂の治療で誤っているのはどれか。

1. 急性期は三角巾による局所の安静
2. 肩甲胸郭関節の可動域訓練
3. 滑車を用いた肩関節可動域維持
4. 肩甲上腕リズムの再学習訓練
5. 重錘を用いた上肢挙上運動

問題61 断端長 40% 残存の上腕切断の評価で誤っているのはどれか。

1. 標準断端と判断した。
2. 断端の感覚検査を行った。
3. 断端の状態を触診した。
4. 健側の徒手筋力テストを行った。
5. 幻肢について確認した。

問題62 前腕義手の操作効率を検査したところ 60% であった。

原因で適切でないのはどれか。

- ア. ソケットの適合
- イ. 上腕カフの大きさ
- ウ. ハーネスの調整
- エ. ケーブルの走行
- オ. ケーブルハウジングの長さ

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題63 乳癌術後の合併症で誤っているのはどれか。

1. 術直後からの肩関節運動は浸出液を増加させる。
2. 術後は肩関節内旋が制限されやすい。
3. 上腕内側の異常感覚を合併することが多い。
4. 腋窩リンパ節廓清は肩関節拘縮の危険因子である。
5. リンパ浮腫は感染を契機に増悪しやすい。

問題64 高齢者の骨折でよくみられるのはどれか。

- ア. 頭蓋底骨折
- イ. 脊椎圧迫骨折
- ウ. コーレス骨折
- エ. モンテジア骨折
- オ. 踵骨骨折

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題65 誤っている組合せはどれか。

- ア. 拘束性障害———%肺活量が90%
- イ. 閉塞性障害———%1秒率が80%
- ウ. 低酸素血症———PaO₂が50 mmHg
- エ. 呼吸性アシドーシス———PaCO₂が上昇
- オ. 代謝性アルカローシス———呼吸数が低下

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題66 運動習慣のない高齢者の運動強度の目安で誤っているのはどれか。

- 1. 嫌気性代謝閾値(AT)
- 2. 予測最大心拍数の50~70%
- 3. 最大酸素摂取量の50~60%
- 4. ボルグ指数が16
- 5. 3~5 METs

問題67 有酸素運動で期待される効果で誤っているのはどれか。

- 1. 最大酸素摂取量の増加
- 2. 乳酸性閾値の上昇
- 3. インスリン感受性の改善
- 4. HDL コレステロールの低下
- 5. 体脂肪量の減少

問題68 高齢者の感染症で誤っているのはどれか。

- 1. 呼吸器系が多い。
- 2. 尿路系が多い。
- 3. 高熱を呈しやすい。
- 4. 意識障害を呈しやすい。
- 5. 糖尿病は危険因子である。

問題69 最も年長まで適応可能な検査はどれか。

1. ミラニー運動発達スクリーニング検査
2. 日本版デンバー式発達スクリーニング検査
3. フロスティック視知覚発達検査
4. グッドイナフ人物画テスト
5. WISC-III

問題70 正常発達で最も年少のレベルはどれか。

1. こぼさないで食べる。
2. 靴を履く。
3. 顔を洗う。
4. 上着を脱ぐ。
5. 鼻をかむ。

問題71 アテトーゼ型脳性麻痺児の症状とアプローチとの組合せで適切でないのはどれか。

1. 定頸不良———腹臥位での頭部挙上
2. 体幹過伸展———座面の高い椅子での座位訓練
3. 動的バランス不良———セラピーボールでのバランス訓練
4. 手指の過伸展———ビンの蓋の開け閉め
5. 目と手の協調障害———ペグ差しの練習

問題72 誤っている組合せはどれか。

1. 脳卒中片麻痺———ループ付タオル
2. アテトーゼ型脳性麻痺———ソックスエイド
3. 頸髄損傷———万能カフ
4. デュシェンヌ型筋ジストロフィー———マイクロスイッチ
5. 関節リウマチ———ボタンエイド

問題73 一般的な車椅子の適合で正しいのはどれか。

1. バックレストの高さは第7頸椎の高さとする。
2. 座幅は腰幅に5 cm 加えた広さとする。
3. 座高は下腿長に5 cm 加えた高さとする。
4. 座長は大腿長に5 cm 加えた長さとする。
5. 大車輪は14インチとする。

問題74 脊髄損傷(第10胸髄節まで機能残存)患者の家屋改造で適切でないのはどれか。

1. ドアの開口部は90 cm とする。
2. 車椅子の回転スペースは直径150 cm とする。
3. スロープの勾配は1/6 とする。
4. 便座の高さは車椅子のシートの高さに合わせる。
5. 電灯のスイッチは床から80~90 cm の高さにする。

問題75 マイクロタワー法はどれか。

1. 場面設定法
2. 作業実習法
3. 作業見本法
4. 職務試行法
5. 活動分析法

問題76 理学療法士及び作業療法士法で正しいのはどれか。

1. 作業療法士免許は都道府県知事から交付される。
2. 作業療法士の作業療法業務独占を規定している。
3. 作業療法士が1日で治療できる患者数を規定している。
4. 作業療法士養成施設の修業年限を1年以上と規定している。
5. 退職した後も業務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

問題77 SST(社会生活技能訓練)の説明で適切でないのはどれか。

1. 社会的学習理論に基づく技法である。
2. 交流分析に基づく技法である。
3. 認知行動療法に基づく技法である。
4. ロールプレイやモデリングなどを使用する。
5. 慢性精神障害者の自立支援を目的として開発された。

問題78 長期入院患者の地域生活支援に向けた作業療法評価で適切なのはどれか。

- ア. ロールシャッハテスト
- イ. 内田・クレペリンテスト
- ウ. 精神障害者ケアアセスメント
- エ. LASMI(Life assessment scale for the mentally ill)
- オ. MMPI(ミネソタ多面人格検査)

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題79 痴呆(認知症)の作業療法で適切でないのはどれか。

1. 集団回想法
2. 見当識の訓練
3. 創作活動
4. ADL 訓練
5. 数字の暗記

問題80 痴呆(認知症)の作業療法の対応で適切なのはどれか。

1. 活動中は詳細な指示を行う。
2. 休息のタイミングを管理する。
3. 新しい活動を用意する。
4. 患者同士の共同作業は避ける。
5. テンポを速くして短時間で終わらせる。

問題81 アルコール依存症の特徴で誤っているのはどれか。

1. 慢性化しやすい。
2. 身体依存を示す。
3. 初期から精神依存を自覚できる。
4. 家族には共依存が生じる。
5. 耐性が獲得される。

問題82 アルコール依存症に関連した症状でないのはどれか。

- ア. 観念奔逸
- イ. 作 話
- ウ. 振戦せん妄
- エ. けいれん発作
- オ. 強迫行為

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題83 薬物依存で正しいのはどれか。

- ア. 習慣性を形成する。
- イ. 薬物中止によって離脱症状が出現する。
- ウ. 使用頻度と使用量は反比例する。
- エ. 強迫性障害の人が陥りやすい。
- オ. パニック障害になりやすい。

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題84 統合失調症患者。作業療法中に「足がむずむずしてじっとしてられない」と訴えた。

この状態はどれか。

1. ジスキネジア
2. ジストニア
3. アカシジア
4. パーキンソニズム
5. チック

問題85 統合失調症の回復期前期における作業療法導入時の評価項目で適切でないのはどれか。

1. 基本的生活リズム
2. 身体感覚の状態
3. 疲れやすさの程度
4. 活動範囲の広がり
5. 金銭管理能力

問題86 慢性期統合失調症患者に作業療法を導入する際の留意点で適切でないのはどれか。

1. 患者の生活パターンを保つ。
2. いくつかの課題を提示する。
3. 何もしなくてもよいことを保障する。
4. 段階づけができる工程を準備する。
5. 完成品を見本に手順を話す。

問題87 統合失調症患者が就労する意義で適切でないのはどれか。

1. 生活リズムが規則的になる。
2. 社会的役割が獲得される。
3. 収入が得られる。
4. 服薬量を減らせる。
5. 自信が持てる。

問題88 躁状態の患者への作業療法場面でみられないのはどれか。

1. 多弁多動
2. 誇大妄想
3. 注意散漫
4. 被害妄想
5. 易刺激性

問題89 気分障害(うつ状態)の患者の作業療法中にみられないのはどれか。

1. 作業能率の低下
2. 作業種目への執着
3. 評価への高い関心
4. 複雑な作業への困惑
5. 失敗へのこだわり

問題90 初老期うつ病の作業療法開始時の留意点で適切なのはどれか。

1. 静かな環境を設定する。
2. 回想法を導入する。
3. 病前に得意だった活動を導入する。
4. グループ活動を導入する。
5. 失敗したときにはその都度励ます。

問題91 神経症性障害患者の作業療法で適切でないのはどれか。

1. 心気症を示す患者では、レクリエーションや運動を促す。
2. 不安発作を示すときは、作業の中断を考慮する。
3. 過剰な不安を抱くときは、作業量を増やす。
4. 身体表現性障害では、身体機能改善を優先する。
5. 自己評価が低いときは、達成しやすい作業に変更する。

問題92 身体表現性障害の患者に対する作業療法士の対応で適切でないのはどれか。

1. 受容的・支持的に関わる。
2. 矛盾する身体症状の理由を話し合う。
3. 葛藤解決や対処方法を話し合う。
4. アンビバレンツな言動を許容する。
5. 心理的距離を保つ。

問題93 摂食障害でみられないのはどれか。

1. 体重増減への過度の関心
2. こだわりの強い嗜好
3. 体重変化を監視されているという言動
4. 食後の嘔吐
5. 衝動コントロールの困難性

問題94 神経性無食欲症の患者に対する作業療法で適切でないのはどれか。

1. 自己表出を促す。
2. 作業活動によってストレス発散を促す。
3. 食欲を増進させるために身体運動を行う。
4. 集中して楽しめる作業活動を行う。
5. 道具や作品などの自己管理を促す。

問題95 境界型人格障害の患者に対する作業療法の目的で適切でないのはどれか。

1. 衝動発散を促す。
2. 依存欲求を満たす。
3. 有能感を高める。
4. 退行を促す。
5. 試行錯誤を促す。

問題96 多動性障害児(注意欠陥多動性障害)で作業時によくみられるのはどれか。

1. 順番が待てない。
2. 同じ行動を繰り返す。
3. 視線を合わせない。
4. オウム返しの返答をする。
5. 他人のまねをする。

問題97 てんかん患者の作業療法で誤っているのはどれか。

1. 集団作業療法を取り入れる。
2. 発作があった日は作業療法を中止する。
3. 生活技能の訓練を行う。
4. 役割に応じた責任を持たせる。
5. 発作のタイプによって作業種目を選択する。

問題98 自殺で正しいのはどれか。

- ア. 若年者では経済問題が主たる原因である。
- イ. 高齢者では家庭問題が主たる原因である。
- ウ. 男性より女性が多い。
- エ. アルコール依存症と関連がある。
- オ. うつ病と関連がある。

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題99 精神保健福祉センターの業務でないのはどれか。

1. 相談指導
2. 調査研究
3. 入院調整
4. 知識普及
5. 技術援助

問題100 精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律(精神保健福祉法)による社会復帰施設でないのはどれか。

1. 精神障害者生活訓練施設
2. 精神障害者地域生活支援センター
3. 精神障害者小規模作業所
4. 精神障害者小規模通所授産施設
5. 精神障害者福祉ホーム